



2026年1月22日

各 位

会社名	ウリドキ株式会社	
(コード番号	418A 名証ネクスト)	
代表者名	代表取締役	木暮 康雄
問合せ先	取締役CFO経営管理本部長	三輪 衛
T E L	050-3181-6247	
U R L	https://uridoki.co.jp/	

個人投資家向け企業説明会 質疑応答の要旨

当社は、2026年1月21日（水）に「名証IRセミナー オンライン個人投資家向け企業説明会」に参加いたしました。

本開示はステークホルダーの皆さまへの情報発信の強化とフェア・ディスクロージャーを目的として、説明会やIR面談等の場で頂戴した質問とその回答を開示するものです。また、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。なお、回答内容は説明会開催時点での見解であり、将来の状況変化により実際の結果と異なる可能性がある点をご了承ください。

Q1. 社名の由来を教えてください。

社名の「ウリドキ」は、売るタイミングでご利用頂きたいという意味での「売り時」と、「売」却でいくらの値段がつくのかという「ドキ」ドキ感（期待）をかけて、「ウリドキ」と名付けました。

Q2. 社員数が少ないように見受けられますが、採用の方針について教えてください。

当社は、高い労働生産性を実現するため、業務を定型と非定型に明確に区分し、定型業務については外部委託（アウトソーシング）を積極的に活用して効率化を図っております。そのうえで、将来の事業拡大を見据え、事業成長を担う人材の採用は、適宜継続して行う方針です。

Q3. AI開発の状況について教えてください。

すでに開示済みの通り、2025年は異常査定価格を自動検出するシステム、査定依頼画像を自動解析するシステム、及び、取引レビューを自動判定するシステムの3つのAIシステムを実装いたしました。今後は、すでに実装されているAIシステムの精度を改良させるとともに、新たなAIシステムの開発も行い、当社プラットフォームの健全性と利便性をさらに向上させてまいります。

Q4. 円安の進行が業績に与える影響について教えてください。

一般的に円安の局面では、リユース品の取引は活発になるといわれております。その背景として、日本のリユース品は外国人からの引き合いが強く、円安により外国人が割安な価格で購入できる環境になることが挙げられます。また、金などのコモディティは国際市場においてドル建てで取引されているため、為替が円安に振れることで円建ての価格が高騰し、当社の主力商材の一つである貴金属の取引も活発になります。こうした要因により、円安は当社の収益増加に寄与する傾向にあります。一方で、海外事業者のWEBサービス利用料などのコストは増加しますが、その影響は収益へのプラス効果に比べれば限定的です。

以上